

2022年5月18日

輸送動向について（2022年4月分）

1. 輸送概況

コンテナは、新型コロナウイルス感染症に伴う需要低迷の影響等を受け、積合せ貨物、家電・情報機器を除く品目で前年を下回った。

農産品・青果物は、玉葱が前年の北海道地区夏季干ばつによる作柄不良に加え、九州地区では2月の低温に伴う生育遅れにより低調に推移したほか、自動車部品は、半導体不足および海外からの部品調達困難により各社が生産調整を行った影響で減送となった。エコ関連物資は、建設発生土の輸送が2021年7月に終了したため前年を下回った。

一方、積合せ貨物は、2021年10月からのブロックトレイン運転開始等により前年を上回ったほか、家電・情報機器は、エアコンの需要回復等により好調となった。コンテナ全体では前年比95.6%となった。

車扱は、原油価格高騰や前年に比べ気温が高く推移し石油が減送となった一方で、その他の炭酸カルシウム・フライアッシュ輸送が配送先の追加で需要増となり前年を上回った。車扱全体では前年比101.8%となった。

コンテナ・車扱の合計では、前年比97.2%となった。

2. 輸送実績

(単位:千トン、%)

種別 扱別	月 計		前年比
	本年実績	前年実績	
コンテナ	1,607	1,682	95.6%
車 扱	597	587	101.8%
合 計	2,204	2,269	97.2%

3. 品目別輸送実績表

(単位:千トン、%)

扱 別	品 目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	108	126	-18	85.7%
	化学工業品	142	149	-7	95.3%
	化学薬品	106	111	-5	96.1%
	食料工業品	280	280	0	99.9%
	紙・パルプ	173	174	-1	99.2%
	他工業品	103	113	-10	90.8%
	積合せ貨物	286	282	4	101.1%
	自動車部品	49	66	-17	75.0%
	家電・情報機器	30	27	3	109.0%
	エコ関連物資	35	47	-12	74.1%
	その他	296	307	-11	96.6%
コンテナ計	1,607	1,682	-75	95.6%	
車 扱	石油	396	401	-5	98.7%
	セメント・石灰石	87	87	0	99.6%
	車 両	68	59	9	114.1%
	その他	47	39	8	119.2%
	車 扱 計	597	587	10	101.8%
合 計		2,204	2,269	-65	97.2%

(車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値)